

令和2年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
英語	2・東書 NEW HORIZON	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語活動（外国語科）の目標との関係では、各単元、音声活動で重要表現に「出会い」、ペア・グループワークなどの協働的な学びで「慣れ」、コミュニケーション活動で「表現する」という一連の学習活動の中で、外国語におけるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、その場に適した表現に気付くことができるように配慮されている。また、児童が自分の考えを伝える活動を繰り返すことで、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な知識・技能や主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図っている。 ○ 題材内容においては、自分から地域、日本、世界へと広がっており、世界の人権・多様性を考える題材を扱う等、見方・考え方を働かせるための工夫がされている。また、対話活動で用いる基本的な表現が単元ごとで終わるのではなく必然的に繰り返し使用する場が設けられている点は、学びの連続性や学習者が主体的・対話的な学びを深めることができるよう編集されていることが感じ取れる。 ○ 言語・学習活動及び指導のしやすさの観点からは1か月あたり1Unitで構成されており、進度の目安がつけやすい。目標表現を基にしたSmall Talkの例文が計画的に示され、授業で活用しやすく構成されている。Word Linkでは別冊のPicture Dictionaryの関連のページが紹介されており、コミュニケーション活動で主体的に活動できるように配慮されている。 ○ 中学校外国語科との接続への配慮として、最後の単元で中学校生活について考えたり、巻末で、今までに学習した表現を確認したりする学習がある。さらに、話す、聞く活動を核としながら、読む、書く活動の分量・配列が効果的であり、中学校での学習への橋渡しに意を用い、自然につながるができる。 ○ 表記・体裁上では、課の冒頭で学習への動機付け、目標の提示がなされ、主体的に取り組む態度を培っている。英文は、適度な分量で、場面設定や活動状況が理解しやすいように写真やイラストが適宜使用され、学習者の理解を助ける配慮が感じ取れる。